

実践研究会を開催!

平成25年3月2日(土)第4回目の実践研究会を行いました。北方西小学校ひまわり教室をいつものようにお借りすることができました。今回のテーマは「人間愛を問う道德教育」です。

発表者は、本巣市を代表して根尾中学校・林隆英教諭、共催の瑞穂市教道研を代表して久保田大作教諭であります。雪が散らつく中、18名の方が参加してくださいました。

10時30分、吉田書記(北方小)の司会で開会となりました。始めは、森山会長のあいさつです。

「学校現場が『いじめ』や『体罰』で混沌としています。こうした状況というのは、競争原理主義や結果優先主義が必要以上の混乱をもたらしているからではないのかと、危惧します。例えば、いじめる人は悪いのだからと徹底して叩く風潮ですが、本当は、いじめる側にも手を差し伸べるのが教育なのではないでしょうか。それ程に余裕のない多忙な学校現場になっているのが一番の原因だと思うのです。そうした厳しい状況の中でも、今日発表していただくお二人の先生には、「思いやる心=人間愛」を感じられる教育実践をしていただいております。その真摯な実践に学びたいと思います。」 **森山会長**

続いては、参加者全員で自己紹介をしました。

町立幼稚園や学校からの近況報告をしていただきました。子どもたちを見守る立場から参加の動機を語っていただきました。

司会・吉田書記



平成24年度 教育実践発表会

「生徒作文をもとにした道德資料の作成」

発表者：本巣市立根尾中学校 林 隆英 教諭

本巣市根尾生まれの生徒が、小6の時能郷に伝わる能・狂言の担い手として努力する弟のことを書きました。中1になり桜学習を体験した自分の思いを書きました。少年の主張で語られた2つの作文を基に、林教諭が『伝統とほこりの郷に生きる』の道德資料に表されたのです。

林教諭が資料を読むのを聴きながら、皆で生徒の心情を考えました。国指定重要無形民俗文化財を引き継ぐための稽古の厳しさ、それに耐え抜く決意の気高さ。淡墨桜を観光客に紹介する緊張感とその充足感。それらの体験を通して、郷土愛を深く自覚する内容になっていました。

感想の交流では、「生徒の心情がよく伝わってくる」「根尾の文化のすばらしさを改めて感じた」「今回根尾の子どもたちを見直した」「少子化の中、能・狂言を受け継ぐ後継者は育つのだろうか」等が出されました。

地元代表として所美千敏氏による根尾文化の解説や根尾中・竹中須美子校長による実践報告もありました。

話合いの様子から



道徳資料として活用するにあたって資料の文量が多すぎないか、追求する道徳的価値を絞り込むべきではないか等が課題として出されました。本巢市共通の郷土資料として磨きをかけたいとの林教諭の意気込みも聴かせてもらいました。

「共によりよい生き方を目指す道徳の時間の在り方」

発表者：瑞穂市立本田小学校 久保田 大作 教諭

担任すれば、どの学級にも手のかかる子は存在します。効率よくやりたければ波風立たぬよう遠ざけたくなるものです。

久保田教諭は、その手のかかる子を、学級経営の中心に据えて実践しました。

5年生の学級担任となり、Y児と出会いました。活発で学習にも意欲的だが、誰にでもひどい言葉を使ったり、暴力を

ふるったりするのです。久保田教諭は、友達と仲良くやりたいと思いつつも、現実にはうまくいかず反対の行動をしてしまう、彼の自己矛盾を見つけます。そこで、「信頼・友情」を核とした指導構想を立て、学級でも学校行事でも、彼が中心になって動ける環境を与えて、そこから体験した意識の変化や高まりを大切に見つめました。

そして、道徳の時間には意図的に思いを出させ、追跡し、価値付けたのです。“1学期『ぼくらだってオーケストラ』は、素直に教えてもらうことの大切さが実感できる。2学期『絵はがきと切手』では、友達に対して言うべきことの大切さを実感できる。3学期『いのりの手』では、友達の頑張りを認め合える大切さを実感できる。その背景として、大縄8の字連続跳びの挑戦があったのではないだろうか。

「3721回をとぶまで、ここまで集中してくれてありがとう。これはみんなのおかげです」と書けるまでに成長したのである。”

この記録は、チャレンジスポーツ in 岐阜の優勝記録になりました。



感想の交流では、「久保田先生のような担任に孫も教えてもらいたい」「道徳全国大会でも頑張ってもらいたい」

等が出されました。また、林明夫顧問からは「仲良かったから」の思いを掘り下げた授業の展開について、ご指導もありました。

「会報をカラー発行できるのは、

所美千敏先生のお蔭です」

最後に、森山会長より、発表者や参会の皆様へお礼の言葉がありました。併せて、所氏からご支援金（2万円）を来年度分もいただいた報告がありました。 自己紹介する所氏



また散会后、所氏を囲んで6名の楽しい昼食会ができました。これにて平成24年度も無事終了となりました。

平成25年度は瑞穂市・本巢市・北方町で活動！

瑞穂市道徳者研究会を代表する本田小・竹本博校長より見出しの提案がありました。旧本巢郡で一緒に活動するのは、喜ばしいことと考え、瑞穂市関係機関の承諾を得たことを確認し、3月11日に行われた岐阜県教育者道徳研究会の席で報告・承認を得ました。

もとず教育者道徳研究会が、微力ながら2市1町の活動の充実に貢献できますよう、皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

朗報 大野琴美教諭の郷土資料選ばれる！

自作資料「新しいものをつくりだした郷土の偉人～古田織部～」が全国小学校道徳教育研究会の成果刊行誌に掲載されました。